

グレート・ヒマラヤ・トラバース5,000キロの旅

重 廣 恒 夫（日本山岳会会員）

グレート・ヒマラヤ・トラバース実施の背景

ネパール国内の「グレートヒマラヤトレイル」は、NHKBSでこれまでとは違うドローン視点の映像が放映されたこともあって、多くの人たちに知られ関心を持たれることになった。

私がグレートヒマラヤトレイルの概念を知ることになったのは、1981年1月から11月にかけてピーター・ヒラリー（世界最高峰エベレスト初登頂者エドモンド・ヒラリーの息子）、チュワン・タシ、グレイム・ディングルがシッキムからカラコルム山脈まで歩いた報告書『世界の屋根を歩く＝ヒマラヤ五千キロ初横断＝』を手にしてからである。その後も多くの外国人がヒマラヤを舞台にしたアクティビティーを行っていた。さらに、英国生まれのロビン・ブーステッド率いるチームによって、5年の調査期間を経て2008年から2009年にかけてネパール国内の「グレートヒマラヤトレイル」1,700kmが初めて踏破されたのも大きな刺激となった

私の「グレート・ヒマラヤ・トラバース」構想の発端は1995年に遡る。日本山岳会は創立90周年の記念事業の一つとして、未踏のマカルー東稜にチベット側から挑み初登攀に成功したことにある。登山終了後、次なる未踏の山を求めて、ラサからランドクルーザーでヤルツァンポー河岸を西へひた走り、パイクー湖を経て吉隆鎮の南に位置するネパールとの国境周辺を偵察した。帰路はネパールとの国境に近い道路をシッキムに接近しながら走り抜けラサに戻った。その時同行した読売新聞社の迫田記者から、「最後は何するの？」と聞かれて即座に答えたのが「ラ

ウンドヒマラヤ」であった。

日本山岳会が1992年に初登頂した、ヒマラヤの最東端に位置するナムチャバルワ（7,782m）からK2（8,611m）までの国境に位置する山々の麓をぐるりと1周する壮大な周回計画である。しかし帰国後は、1996年の「日本100名山連続踏破」を皮切りに「中央分水嶺踏査」「ラウンド琵琶湖」「四国分水嶺踏査」「近畿分水嶺踏査」「関西県境縦走」などの縦走登山や、「200名山登山」「ふるさと名山探訪」「ふるさと富士探訪」「中央分水嶺の山を登る」「歴史峠トレッキング」「三県境の山を登る」などのイベント登山。さらに、『新日本山岳誌』に掲載された約4,000の山を目標にした「チャレンジ4,000」などの国内登山（ネパールやパキスタンでのトレッキングや2016年のナンガマリⅡ峰初登頂は別として）に年間120日前後を費やし、いつしかヒマラヤは遠い存在になっていた。

2017年、山岳会の副会長に就任し記念事業担当となった。2025年に迎える創立120周年の記念事業で何をするか模索する中で頭に浮かんだのが、「ラウンドヒマラヤ」ならぬ「グレート・ヒマラヤ・トラバース」であった。2015年の110周年の折にも「グレートヒマラヤトレイル」踏査の構想は提案されたが実現しなかった経緯もあった。ただ地勢的な理由や経費的な面から、ナムチャバルワからの開始や中国側の踏査は諦め、2019年に実施したシッキム側からのカンチェンジュンガ展望トレッキングを幕開けとし、2020年春から世界第3位の高峰カンチェンジュンガから世界第2位のK2までの約5,000kmの踏査を行なうことにした。

グレート・ヒマラヤ・トラバース実施の目的

グレート・ヒマラヤ・トラバースは、探検的ヒマラヤ登山の少なくなった現代において、1956年のマナスル初登頂を嚆矢とした日本山岳会や多くの登山隊がおこなってきたヒマラヤ高峰登山の足跡を辿りながら、ヒマラヤ地域の人と自然とその生活の変貌、地球温暖化による気候変動でその姿を変えつつあるヒマラヤの今を検証する「温故知新」の踏査である。

目的：

1. ヒマラヤ地域の変遷調査（初登頂時代との比較と環境変化）
2. 探検的ヒマラヤ登山による未踏峰・未踏ルートへの挑戦
3. 1枚の地図から夢を描き、計画を作り、実行するチャレンジ精神を時代に継承する

実施状況

第1回目：2020年2月29日～5月16日

タプレジュン～カンチェンジュンガ南面・北面踏査及びパプクカン（6,244m）試登

グレート・ヒマラヤ・トラバースの踏査の実施については、新型コロナウイルスの感染拡大次第で、入国後に踏査活動禁止という最悪の事態も予想されたが、2025年までに完了する全体スケジュールの遂行を考えると躊躇することはできなかった。

2月29日、成田・関空よりカトマンズ空港に到着した。カトマンズでは今回使用する装備・食料のピックアップ、ネパール観光省でのブリーフィングや両替、梱包作業で3日間があっという間に過ぎた。

3月4日～5日、カトマンズからタプレジュンへチャーターバスで移動。食料や燃料の買い足しや、ポーターの雇い入れをおこなって、7日にキャラバンを開始した。タプレジュンからはカンチェンジュ

ンガ周回トレッキングのメインコースを辿ったが、200万人の観光客を当て込んだ観光年（2020年実施）も新型コロナウイルスのおかげで中止となり、自動車道の延伸やロッジの増改築がおこなわれていたにも関わらず、トレッカーの姿はなかった。そのためシェルパガオンを過ぎてからのロッジはまだ開いておらず、小屋番が我々と一緒に移動し小屋を開けてくれたが、我々がいなくなると彼らは村に戻った。

20日、2020年プレモンスーンの登山隊の登山許可証の発行停止と活動停止など、観光年のすべてのイベント中止と、日本への帰国のために日本政府のチャーター便が4月10日に運行されるとの情報がカトマンズのエージェントからもたらされたが、我々は踏査続行をすることにした。

ラムゼーやパンペマまでのトレッキングコースの通行は特に問題はなく南面からのカンチェンジュンガ、北面からのカンチェンジュンガを望むことができ、これから始まるグレート・ヒマラヤ・トラバースのスタート地点に立つことが出来た。しかし、ツェラムからグンサまでのミルギン・ラやセレレ・ラなどの峠の通過やグンサからヤンマコーラまでのナンゴー・ラの通過は予想以上に残雪が多く、無雪期の



グンサでNHK取材班に逢う

3. 海外登山記録

倍以上の時間がかかった。

最奥の村ヤンマからのパブクカン（6,244m）の登山は、4日間でネパール・チベット国境に至り標高5,746mのガン・ラに到達して頂上に向かう予定であったが、昔からチベットとの交易路として使われていたヤク道は、深い雪に覆われてルートファイン

ディングが難しく峠

に到達することが出

来なかった。そのた

めに北に大きく迂回

して稜線に登り頂上

に向かったが、思わ

ぬ岩稜と頂上直下の

懸垂氷河に阻まれ登

頂はならなかった。

帰路、警察官の駐

在するオランチュン

ゴーラでは新型コロ

ナウイルスに関する

情報は得られなかつ

たが、レレップの警

察で都市間の移動の

禁止を知ると同時に

足止めされることにな

った。それでも役

場関係者の協力を得

て4月15日タプレ

ジュンに戻ることが

できた。その後、在

ネパール日本大使館

と連絡を取り、通行

許可書入手カトマ

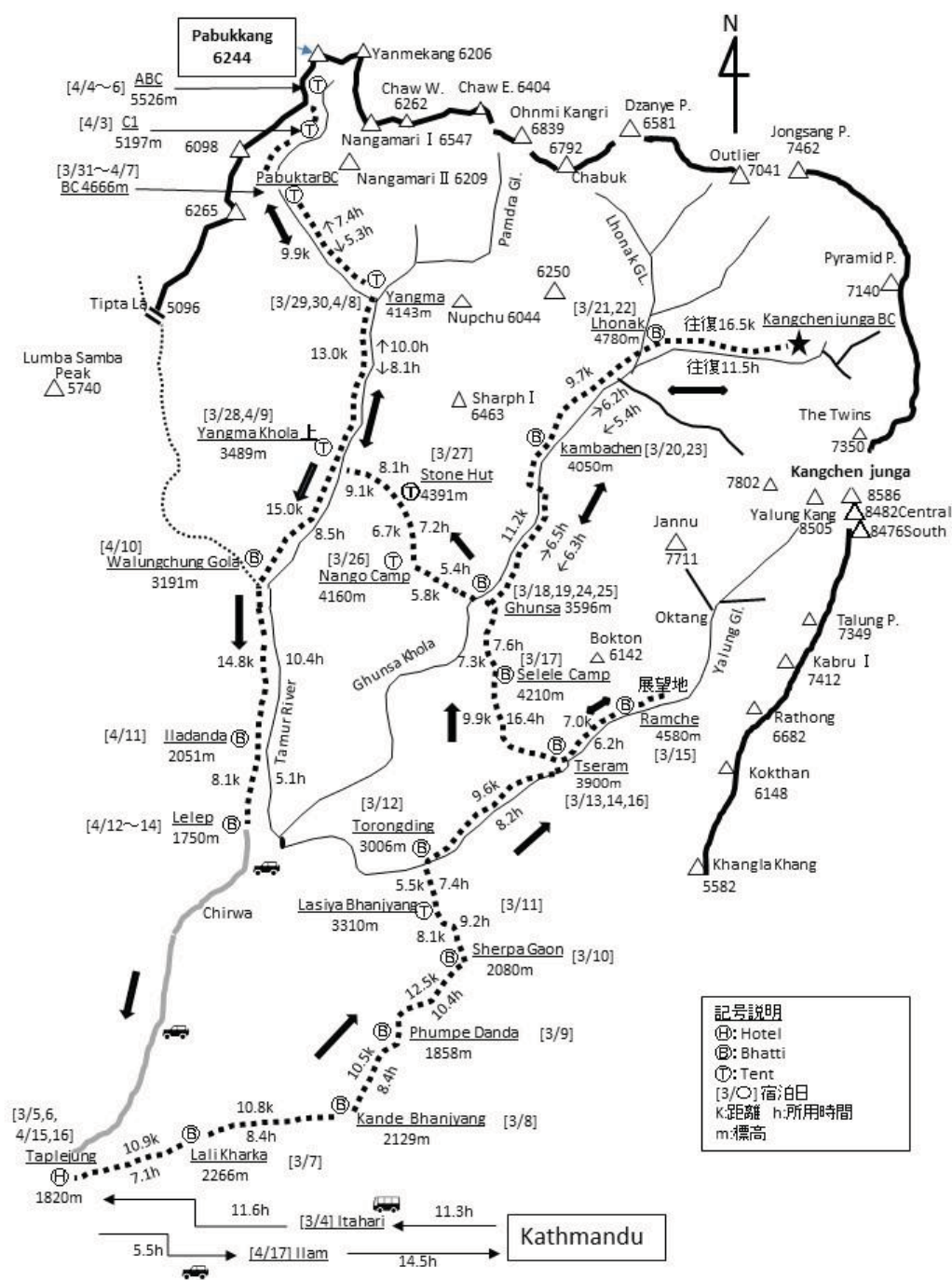
ンズに戻ることが出

来たが、19日から5

月14日までカトマンズで足止めにされ、15日にネパー

ル側のチャーター機でカトマンズ空港を出発し、16

日朝成田空港に帰還した。



第1回GHT（カンチェンジュンガエリア）概念図

【行程表】グレートヒマラヤトラバース1回目

グレートヒマラヤトラバース1回目

2020/5/18

No.	Day	Place	Height(m)	Time	Meal	
1	2月29日	NRT・KIX～ICN～Kathmandu	1,300			ホテル泊
2	3月1日	Kathmandu	1,300		Restaurant	準備（カトマンズデが等確認）
3	3月2日	Kathmandu	1,300		Restaurant	準備（食料・装備買出し）
4	3月3日	Kathmandu	1,300		Restaurant	準備（梱包・他）
5	3月4日	Kathmandu～Itahari	300	11.34	Restaurant	ホテル泊
6	3月5日	Itahari～Taplejung	1,820	11.55	Restaurant	ホテル泊
7	3月6日	Taplejung	1,820		Restaurant	キャラバン準備
8	3月7日	Taplejung/Lali Kharka	2,266	7.05	Bhatti	
9	3月8日	Lali Kharka/Kande Bhanjyang	2,129	8.41	Bhatti	
10	3月9日	Kande Bhanjyang/Phumpe Danda	1,858	8.35	Bhatti	ママンケまで届かなかった
11	3月10日	Phumpe Danda/Sherpa Gaon	2,080	10.40	Bhatti	ロッジが増築されていた
12	3月11日	Sherpa Gaon/Laslya Bhanjyang	3,310	9.15	Bhatti	宿泊はテント
13	3月12日	Laslya Bhanjyang/Torongding	3,006	7.43	Bhatti	ロッジが増築されていた
14	3月13日	Torongding/Tseram	3,870	8.21	Bhatti	
15	3月14日	Tseram	3,870		Bhatti	悪天のため停滞
16	3月15日	Tseram/Ramche	4,580	6.15	Tent	
17	3月16日	Ramche/Tseram	3,870	6.50	Bhatti	カンチェンジュンガ展望地往復
18	3月17日	Tseram/Selele Camp	4,210	16.37	Bhatti	雪のミルギン・ラ、セレレ・ラ
19	3月18日	Selele Camp/Ghunsu	3,596	7.55	Bhatti	ロッジが増築されていた
20	3月19日	Ghunsu	3,596		Bhatti	
21	3月20日	Ghunsu/Kangbachen	4,050	6.51	Bhatti	ロッジが増築されていた
22	3月21日	Kangbachen/Lhonak	4,780	6.18	Bhatti	ロッジが増築されていた
23	3月22日	Lhonak/KanchenjungaBC/Lhonak	4,780	11.48	Bhatti	バンベマ（5147m）往復
24	3月23日	Lhonak/Kangbachen	4,050	5.43	Bhatti	
25	3月24日	Kangbachen/Ghunsu	3,596	6.30	Bhatti	NHK取材班に逢う
26	3月25日	Ghunsu	3,596		Bhatti	洗濯・充電
27	3月26日	Ghunsu/Nango camp	4,160	5.36	Tent	小屋とトイレが建っていた
28	3月27日	Nango camp/Stone Hut	4,391	7.22	Tent	雪のナンゴラ（4776m）越え
29	3月28日	Stone Hut/Yangma Khola上	3,489	8.12	Tent	
30	3月29日	Yangma Khola上/Yangma	4,143	10.01	Tent	ヤンマの村は変わっていなかった
31	3月30日	Yangma	4,143		Tent	休養日・充電
32	3月31日	Yangma/PabuktarBC	4,666	7.35	Tent	
33	4月1日	PabuktarBC	4,666		Tent	
34	4月2日	PabuktarBC	4,666		Tent	
35	4月3日	PabuktarBC/C1	5,197	5.32	Attack	
36	4月4日	C1/ABC	5,526	6.01	Attack	
37	4月5日	ABC/ABC	5,526	8.22	Attack	5798m往復
38	4月6日	ABC/ABC	5,526	12.56	Attack	5920m往復
39	4月7日	ABC/PabuktarBC	4,666	7.20	Tent	
40	4月8日	PabuktarBC/Yangma	4,143	5.34	Tent	
41	4月9日	Yangma/Yangma Khola上	3,489	8.05	Tent	
42	4月10日	Yangma Khola上/Olangchun Gola	3,191	8.51	Bhatti	ティプタ・ラから自動車道が出来ていた
43	4月11日	Olangchun Gola/Iladanda	2,051	10.36	Bhatti	ネパール側の道路の最北端工事中
44	4月12日	Iladanda/Lelep	1,750	5.12	Bhatti	
45	4月13日	Lelep	1,750		Bhatti	隊荷乾燥
46	4月14日	Lelep	1,750		Bhatti	隊荷仕分け
47	4月15日	Lelep～Taplejung	1,820	5.31	Restaurant	隊員4駆・隊荷トラクター
48	4月16日	Taplejung	1,820		Restaurant	ホテル泊
49	4月17日	Taplejung～Ilam	1,300	5.53	Restaurant	4駆・ホテル泊
50	4月18日	Ilam～Kathmandu	1,300	14.50		4駆・コスモトレック
51	4月19日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
52	4月20日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
53	4月21日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
54	4月22日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
55	4月23日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
56	4月24日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
57	4月25日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
58	4月26日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
59	4月27日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
60	4月28日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
61	4月29日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
62	4月30日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
63	5月1日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
64	5月2日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
65	5月3日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
66	5月4日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
67	5月5日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
68	5月6日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
69	5月7日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
70	5月8日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
71	5月9日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
72	5月10日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
73	5月11日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
74	5月12日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
75	5月13日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
76	5月14日	Kathmandu	1,300			コスモトレック
77	5月15日	Kathmandu	1,300			KTM21:30発RA4331
78	5月16日	～成田（車）三ノ宮				

※所要時間には休憩・昼食を含む

3. 海外登山記録

第2回目：2022年10月1日～11月26日

マカルーエリア（オランチュン・ゴーラ～ティプタ・ラ（5,095m）～ルンバサンバ峠（5,144m）～シェルパニ・コル（6,180m）～ウエスト・コル（6,190m）～アンブラプチャ（5,845m）～ナムチェバザール）踏査

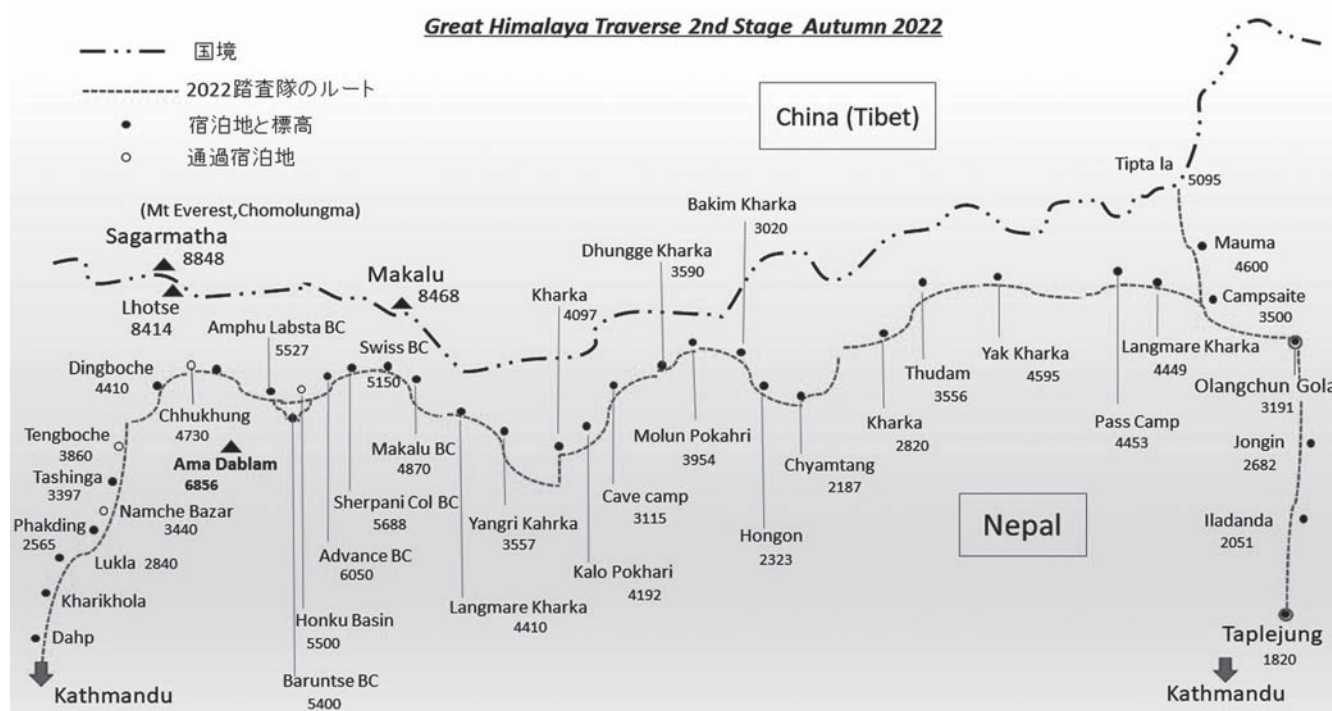
カトマンズ到着以来雨に悩まされたが、10月12日オランチュンゴーラを出発してからは好天に恵まれ、ほぼ予定通りの日程で踏査を終えることができた。

1912（大正元）年、青木文教がラサへの入蔵時に越えたティプタ・ラには国境近くまで到達した。チベット側には国境検問所が設けられていたが閉鎖されていた。2017年、ティプタ・ラから24kmの自動車道路がオランチュン・ゴーラに繋がったという。タムール川の標高3,100mに位置するオランチュン・ゴーラは、地元住民であるワルン族にちなんで名付けられており、チベットとの活発で歴史的な交易路であった。ネパール側の住人は米・塩・油などの生

活必需品をチベットのリュバザールから購入し、カーペットやチーズを輸出していた。国境に向かう左岸に旧道があるが、新しい道路がオランチュン・ゴーラまで伸びていた。しかしここ数年は通行された形跡がなく、随所に壊れた重機やドラム缶が散乱していた。

10月19日、ルンバサンバの峠越えは10日前に降った雪が残っていたが、通行に支障をきたすようなことはなかった。ヤングリカルカまでの行程は現地住民の生活道とはいえ、橋が流されており大きく迂回せざるを得なかったが、急崖の細い道の通過では危険箇所も多く難渋しながら31日に到達することが出来た。踏査中に会ったのは数人の欧米人と、我々の通過時に宿を提供する住民だけであった。しかし、ヌムからマカルーBCを訪れる欧米人やネパール人は多く、ヤングリカルカで泊まったバッチェやマカルーBCのバッチェはごった返していた。

ヤングリカルカからランマレカルカの間では、2017年4月20日にランマレカルカの近くで発生したGLOF



第2回GHT（マカルーエリア）概念図

(氷河湖決壊洪水) で、死者こそ出なかったものの2軒の家屋、2軒のバッチェと古いゴンパが破壊された。周辺には、当時ヤングリカルカにいた住民やトレッカーが閉じ込められたバルン川の洪水の傷跡が残っていた。

11月7日からのシェルパニ・コル、ウエスト・コルの通過は標高も6,000mを越え、寒気も強まって動作も鈍くなり苦勞した。シェルパニ・コル通過時に

出会ったのは、ウエスト・コルを経てシェルパニ・コルを越えてきた1パーティーと、シェルパニ・コルBCで追い抜いて行ったイタリア隊だけであった。しかし寒気は厳しく、極度の高度障害に苦しめられた藤井隊員は11月9日ヘリコプターでカトマンズへ戻った。

12日、チュクンまで下るとアイランド・ピークに向かう登山者の列と、エベレスト街道を往来するトレッカーの多さに驚いた。

コロナ禍による国境閉鎖後、チベットからの生活必需品が輸入されなくなったため10月22日に通過したチャムタンやホンゴンやその北方にある村々は、多くの生活物資を輸送コストの高いネパール側から調達しなければならず、物資不足と価格の高騰に直面し困窮していた。



シェルパニ・コルへの登り

【行程表】グレートヒマラヤトラバース2回目（マカルーエリア）行動記録

グレートヒマラヤトラバース2回目（マカルーエリア）行動記録				
No.	Day	行程	通信手段	特記事項（GPSの標高）
1	10月1日	NRT～Kathmandu	SNS（L）	
2	10月2日	Kathmandu	SNS（L）	
3	10月3日	Kathmandu	SNS（L）	
4	10月4日	Kathmandu	SNS（L）	
5	10月5日	Kathmandu	SNS（L）	
6	10月6日	Kathmandu～Itahari	SNS（L）	
7	10月7日	Itahari～Taplejung	SNS（L）	
8	10月8日	Taplejung	SNS（L）	
9	10月9日	Taplejung～Iladanda	GARMIN IR	
10	10月10日	Iladanda～Jongin	GARMIN IR	2,682m
11	10月11日	Jongin～Olangchun Gola	SNS（Me）	3,267m
12	10月12日	Olangchun Gola	SNS（Me）	
13	10月13日	Olangchun Gola～Campsait	GARMIN IR	3,721m
14	10月14日	Campsait～Mauma	GARMIN IR	4,083m
15	10月15日	Mauma～Tiptara Bhanjyang/Mauma	GARMIN IR	Tiptara手前4,985m
16	10月16日	Mauma～Campsait（半日休養）	GARMIN IR	
17	10月17日	Campsait～Langmale Kharka	GARMIN IR	4,449m
18	10月18日	Langmale Kharka～Pass Camp	GARMIN IR	
19	10月19日	Pass Camp～Yak Kharka	GARMIN IR	4,522m（ルンバサンバ峠5,144m）
20	10月20日	Yak Kharka～Thudam	GARMIN IR	3,555m
21	10月21日	Thudam～Kharka	SNS（Me）	
22	10月22日	Kharka～Chyamtang	IR	2,256m
23	10月23日	Chyamtang～Hongon	SNS（Me）	2,377m
24	10月24日	Hongon（休養日）	SNS（Me）	
25	10月25日	Hongon～Bakim Kharka	GARMIN IR	3,048m
26	10月26日	Bakim Kharka～Molun Pokhari	GARMIN IR	3,968m 曇り午後より雨、雪
27	10月27日	Molun Pokhari～Dhungge Kharka	GARMIN IR	3,572m
28	10月28日	Dhungge Kharka～Cave Camp手前	GARMIN IR	2,924m 橋が流されており迂回に時間を要した
29	10月29日	Cave Camp手前～Kalo Pokhari	GARMIN IR	4,123m
30	10月30日	Kalo Pokhari～Kharka	GARMIN IR	4,061m
31	10月31日	Kharka～Yangri Kharka	GARMIN IR	3,649m
32	11月1日	Yangri Kharka（休養日）	GARMIN IR	
33	11月2日	Yangri Kharka～Langmale Kharka	GARMIN IR	4,465m
34	11月3日	Langmale Kharka～Makalu B C	GARMIN IR	4,847m
35	11月4日	Makalu B C～Swiss B Camp	GARMIN IR	5,206m
36	11月5日	Swiss B Camp～Sherpani Col BC	GARMIN IR	
37	11月6日	Sherpani Col BC（休養日）	GARMIN IR	
38	11月7日	Sherpani Col BC～Sherpani Col下	GARMIN IR	シェルパニコル（6,180m）通過
39	11月8日	Sherpani Col下～Baruntse BC	GARMIN IR	ウエストコル（6,190m）通過。Baruntse（5,435m）
40	11月9日	Baruntse BC	GARMIN IR	高度障害の藤井隊員をヘリでカトマンズへ移送
41	11月10日	Baruntse BC～Amphu Labsta B.C	GARMIN IR	5,529m
42	11月11日	Amphu Labsta B.C～Imja Tsho湖畔	GARMIN IR	アンブラブチャコル（5,845m）通過。5,010m
43	11月12日	Imja Tsho湖畔～Dingboche	SNS（L）	4,290m 藤井さん退院Radisson Hotelへ
44	11月13日	Dingboche	SNS（L）	隊荷整理(登攀装備・コンロ類・コップエルデガ)
45	11月14日	Dingboche～Lawi Schyasa	GARMIN IR	
46	11月15日	Lawi Schyasa～Phakding	SNS（L）	
47	11月16日	Phakding～Puiya		
48	11月17日	Puiya～Dhap		
49	11月18日	Dhap～Kathmandu		
50	11月19日	Kathmandu		
51	11月20日	Kathmandu		食料整理・スタッフ支払い打合せ
52	11月21日	Kathmandu		スタッフ支払い・スタッフ慰労会
53	11月22日	Kathmandu		医薬品整理・ソーラー電源関係整理
54	11月23日	Kathmandu		個人装備整理
55	11月24日	Kathmandu		個人装備整理
56	11月25日	Kathmandu～		
57	11月26日	～NRT		

*当初計画では10/5にKathmandu出発であったが、祭り（ダサイン）のため10/6発に計画変更

3. 海外登山記録

第3回目：2023年4月1日～5月31日

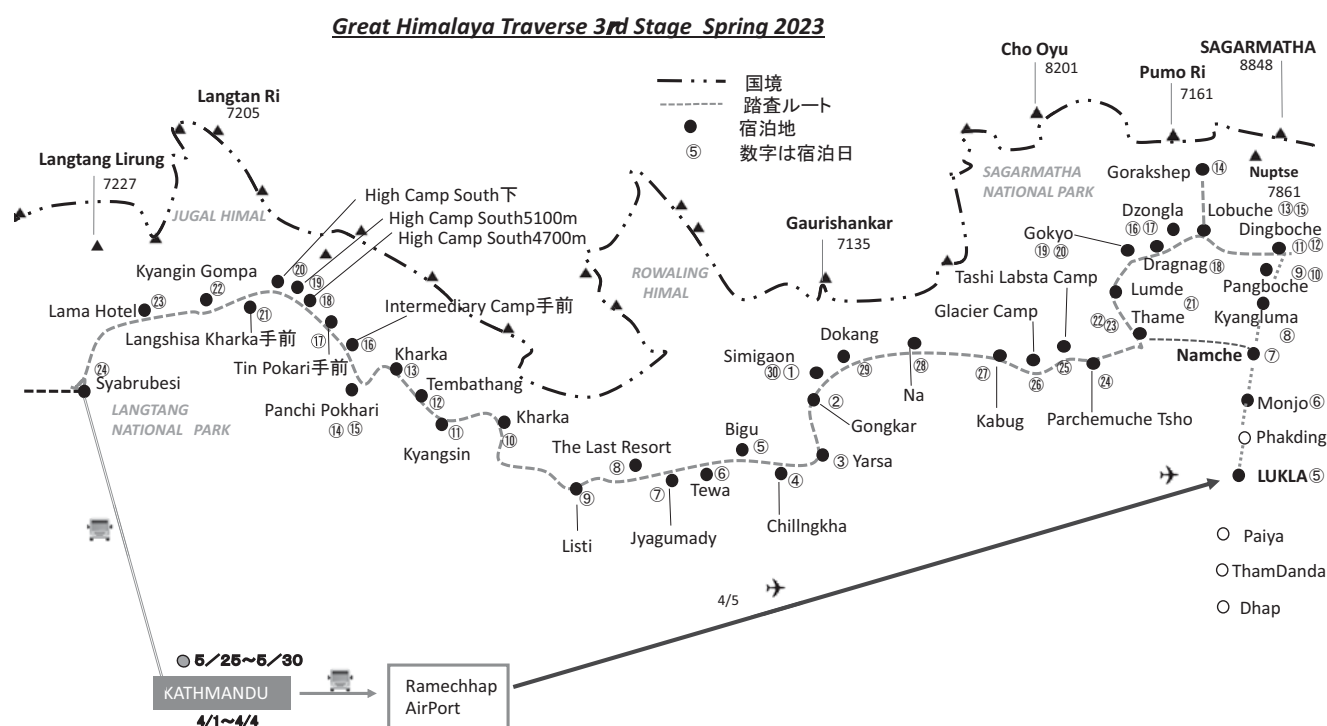
クンブ～ロールワリン～ティルマン・パス
(5,320m)～ランタンエリア踏査

私が初めてエベレストと対峙したのは73（昭和48）年の秋、第二次RCC（ロッククライミングクラブⅡ）による「日本エベレスト登山隊」に参加し、南西壁に向かった時である。登山隊は総勢47名という、当時では日本のヒマラヤ登山史上最大クラスの規模であった。ヒマラヤ登山の経験のない者8人が先発隊として、4月初旬にカトマンズに向かった。森田勝、長谷川恒男や加藤保男が一緒だった。

その後、何度かトレッキングツアーに同行してのネパール訪問はあったが、GHT2回目そして今回の3回目の訪問ではエベレスト街道の変貌ぶりに驚いた。コロナ禍による登山やトレッキングの禁止という休止期間はあったが、再開後のトレッカーの復活（欧米を主として）ぶりに目を見張った。73年に逢ったトレッキング隊は数隊（そのうち日本人は1隊）

であったが、50年たった今はルクラからロブチェまで間断なくトレッカーの往来があった。73年に偵察や隊荷の輸送中に滞在したナムチェバザールのシェルパの石作りの家は、すべてホテルに変わっていた。その時一緒だったシェルパ達も、生存しているほとんどがカトマンズで暮らしている。街道筋には瀟洒なロッジや病院が建ち並んでいたが、偵察や輸送の折に何度か泊まったモンジョの竹村さん夫妻（東京農大出身で1972年から農園を開拓）の家は取り壊されていた。踏査では50年ぶりのエベレストBC訪問を楽しみにしていたが、手前のロブチェで風邪による体調悪化で、一時隊を離脱しなければならなかったのは残念だった。ナムチェバザールまで下り静養した後、別動隊と合流して一旦カトマンズに戻った。その後日本に帰る2人を見送った後、コンガルまで車で移動して本隊と合流、踏査を再開した。

ランタン山群は首都カトマンズから最も近いヒマラヤ登山やトレッキングの場として多くの人が訪れていたが、私はこれまでランタン方面には1996（平



第3回GHT（クンブ～ロールワリン～ランタンエリア）概念図

成8)年に訪れた時にキャンジン・ゴンパからキャンジン・リ(4,773m)を登っただけであった。しかし、ティルマンのコルを越えた後にランタン谷に下り、2015年の地震で甚大な被害を受けた現場を目の当たりにして胸が痛んだ。

ランタン山群の最高峰はランタン・リルン(7,227m)で、1961(昭和36)年に大阪市立大学隊が挑戦をしたが、リルン氷河で森本嘉一隊長と大島健二隊員、サーダーのギャルツェン・ノルブ(今西壽雄さんと共に登ったマナスルの初登頂者)を雪崩で失い、日本人初のヒマラヤ遭難となった。1978(昭和53)年10月24日、第4次遠征隊の和田城志とシェルパのペ

ンパ・ツェリンが念願の頂上に立った。初登頂者の和田城志は2015年4月25日11時47分(現地時間)、ランタン谷最奥のランタン・リ(7,205m)のベースキャンプ(5,300m)にいた。地震発生と同時に周囲の峰、稜線から轟音を伴った雪崩が発生、雪煙の襲来でいくつかのテントが潰れたが、人的な損傷はなく、28日にはヘリコプターでキャンジン・ゴンパに下山、翌29日キャンジン・ゴンパからドンチェに移動した。ヘリコプターから撮った写真や動画は、被災したランタン谷の悲惨な状況を誰よりも早く世界に伝えることになった。



ティルマン・パスを見上げる

3. 海外登山記録

【行程表】グレートヒマラヤトラバース 3 回目（クンプ～ロールワリン～ランタンエリア）行動記録

グレートヒマラヤトラバース3回目（クンプ～ロールワリン～ランタンエリア）行動記録												
No.	日時	曜日	行程	標高	宿泊	出発時間	到着時間	所要時間	登り累計	下り累計	距離（km）	重廣行動
1	4月1日	土	Kathmandu	1,300	Hotel							
2	4月2日	日	Kathmandu	1,300	Hotel							
3	4月3日	月	Kathmandu	1,300	Hotel							
4	4月4日	火	Kathmandu	1,300	Hotel							
5	4月5日	水	KTM～Ramechhapu～Lukla	2,840	Bhatti							
6	4月6日	木	Lukla～Monjo	2,835	Bhatti	13:34	15:53	2:19	417	241	4.8	
7	4月7日	金	Monjo～Namche	3,440	Bhatti	8:22	12:10	3:48	756	156	4.8	
8	4月8日	土	Namche～Khumjung～Khyangjuma	3,550	Bhatti	8:16	14:55	6:39	666	444	7.1	
9	4月9日	日	Khyngjuma～Pangboche	3,930	Bhatti	8:11	15:08	6:57	954	631	9.2	
10	4月10日	月	Rest	3,930	Bhatti							
11	4月11日	火	Pangboche～Dingboche	4,410	Bhatti	9:28	12:15	2:47	387	54	4.4	
12	4月12日	水	Dingboche⇄5083m往復（順応）	4,410	Bhatti	8:11	13:31	5:20	753	743	4.7	
13	4月13日	木	Dingboche～Lobuche	4,910	Bhatti	8:22	15:16	6:54	707	83	7.5	
14	4月14日	金	Lobuche～EverestBC～Gorakshep	5,140	Bhatti							Lobuche
15	4月15日	土	Gorakshep～Kalapatthar往復～Lobuche	4,910	Bhatti							Lobuche
16	4月16日	日	Lobuche～Dzongla	4,830	Bhatti	9:46	13:01	3:15	32	495	4.5	Lobuche～Phreiche(4,240)
17	4月17日	月	Dzongla	4,830	Bhatti	8:29	12:03	3:34	132	481	5.8	Pheriche～Pangboche(3,930)
18	4月18日	火	Dzongla～Cho・La（5,420m）～Dragnag	4,700	Bhatti	8:26	12:11	3:45	188	777	6.1	Pangboche～Phunke Tenga(3,250)
19	4月19日	水	Dragnag～Gokyo	4,734	Bhatti	8:21	10:36	2:15	365	59	2.5	Punke Tenga～Khyangjima
20	4月20日	木	Gokyo⇄Gokyo Ri 往復	4,734	Bhatti	8:14	10:17	2:03	104	311	4.1	Khyangjima～Namche
21	4月21日	金	Gokyo～Renjo・La（5,350m）～Lumde	4,368	Bhatti							Namche
22	4月22日	土	Lumde～Thame	3,820	Bhatti							Namche
23	4月23日	日	Thame	3,820	Bhatti	12:35	15:02	2:27	176	746	4.9	Namche～monjo
24	4月24日	月	Parchemuche Tsho(4,780m)	4,780	Bhatti	8:01	14:44	6:43	736	689	12.1	momjo～Lukla
25	4月25日	火	5200m付近（Tashi Labsta Camp5,665m手前）	5,200	Bhatti							Lukla～Kathmandu
26	4月26日	水	Glacier Campの手前	4,780	Tent							Kathmandu
27	4月27日	木	Kabug(4,820m)	4,820	Tent							Kathmandu
28	4月28日	金	Na(4,180m)	4,180	Tent							Kathmandu
29	4月29日	土	Dokhang(2,791m)	2,791	Tent							Kathmandu
30	4月30日	日	Simigaon(2,036m)	2,036	Bhatti							Kathmandu
31	5月1日	月	Rest	2,036	Bhatti							Kathmandu
32	5月2日	火	Gonggar(1,440m)	1,440	Bhatti							Kathmandu～Gonggar 車
33	5月3日	水	Yarsa	2,036	Bhatti	8:03	15:37	7:34	1,064	470	9.6	
34	5月4日	木	Chillingkha（L otingの手前）	1,924	Bhatti	7:52	15:58	8:06	662	668	15.2	
35	5月5日	金	Bigu村（Bigu Gumpaの500m下）	2,157	Bhatti	7:46	14:32	6:46	861	556	9.1	
36	5月6日	土	Tewa（峠近く）	3,274	Tent	7:11	16:55	9:44	1,594	474	11.8	
37	5月7日	日	ジャクマディ	2,471	Tent	7:11	15:23	8:12	307	1,109	7.6	
38	5月8日	月	The Last Resort（1,170m）	1,170	Bhatti	7:38	14:54	7:16	321	1,534	11.9	
39	5月9日	火	The Last Resort～Listi（2,260m）	2,260	Bhatti	7:52	12:50	4:58	1,069	4	3.5	
40	5月10日	水	Listi～Khaka	3,014	Bhatti	7:22	16:47	9:25	1,052	340	11	
41	5月11日	木	Khaka～Kyangsin（2,520m）	2,520	Tent	7:32	11:51	4:19	231	730	5	
42	5月12日	金	Kyangsin～Tembathang(2,160m)	2,160	Tent	7:03	14:56	7:53	741	998	8.4	
43	5月13日	土	Tembathang(2,160m)～Kharka	3,236	Tent	7:05	15:13	8:08	1,179	167	6.8	
44	5月14日	日	Kharka～Panchi Pokhari(4,074)	4,070	Bhatti	7:07	14:31	7:24	1,035	207	5.2	
45	5月15日	月	Rest	4,070	Bhatti							
46	5月16日	火	Panchi Pokhari～Kharka（Intermediary Camp手前）	3,976	Tent	7:29	15:01	7:32	407	495	4.9	
47	5月17日	水	Kharka（Intermediary Camp手前）～Tin Pokari手前(4,255m)	4,179	Tent	7:41	15:55	8:14	652	447	5.5	
48	5月18日	木	Tin Pokari手前(4,255m)～High Camp South(4,700m)付近	4,696	Tent	7:44	13:02	5:18	543	18	3	
49	5月19日	金	High Camp South(4,700m)付近～High Camp South(5,100m)付近	5,111	Tent	7:36	15:57	8:21	577	153	3.1	
50	5月20日	土	High Camp South(5,100m)付近～High Camp South下	4,711	Tent	8:28	17:22	8:54	422	824	4.7	
51	5月21日	日	High Camp South下～Langshisa Kharka手前(4,150m)	4,141	Tent	6:44	4:14	21:30	740	1,313	9.9	ティルマン・パス越え
52	5月22日	月	Langshisa Kharka手前(4,150m)～Kyangin Gumpa	3,830	Tent	8:12	17:04	8:51	357	704	12.8	
53	5月23日	火	Kyangin Gumpa～Lama Hotel	2,488	Bhatti	8:27	19:09	10:41	279	1,654	17.7	
54	5月24日	水	Lama Hotel～Syabrubesi	1,503	Bhatti	7:01	14:34	7:33	297	1,327	10.8	
55	5月25日	木	Syabrubesi～Kathmandu	1,300	Hotel	7:10	17:35	10:25:00	3,589	3,386	108.1	チャーターバス
56	5月26日	金	Kathmandu	1,300	Hotel							
57	5月27日	土	Kathmandu	1,300	Hotel							
58	5月28日	日	Kathmandu	1,300	Hotel							
59	5月29日	月	Kathmandu	1,300	Hotel							
60	5月30日	火	Kathmandu 22:30発	1,300								
61	5月31日	水	AM9時30分成田着								260km	

Hotel：9日
Bhatti：34日
Tent：16日

第4回目：2023年10月7日～11月25日

ガネッシュ・マナスル・アンナプルナエリア踏査、
ナムン峠調査

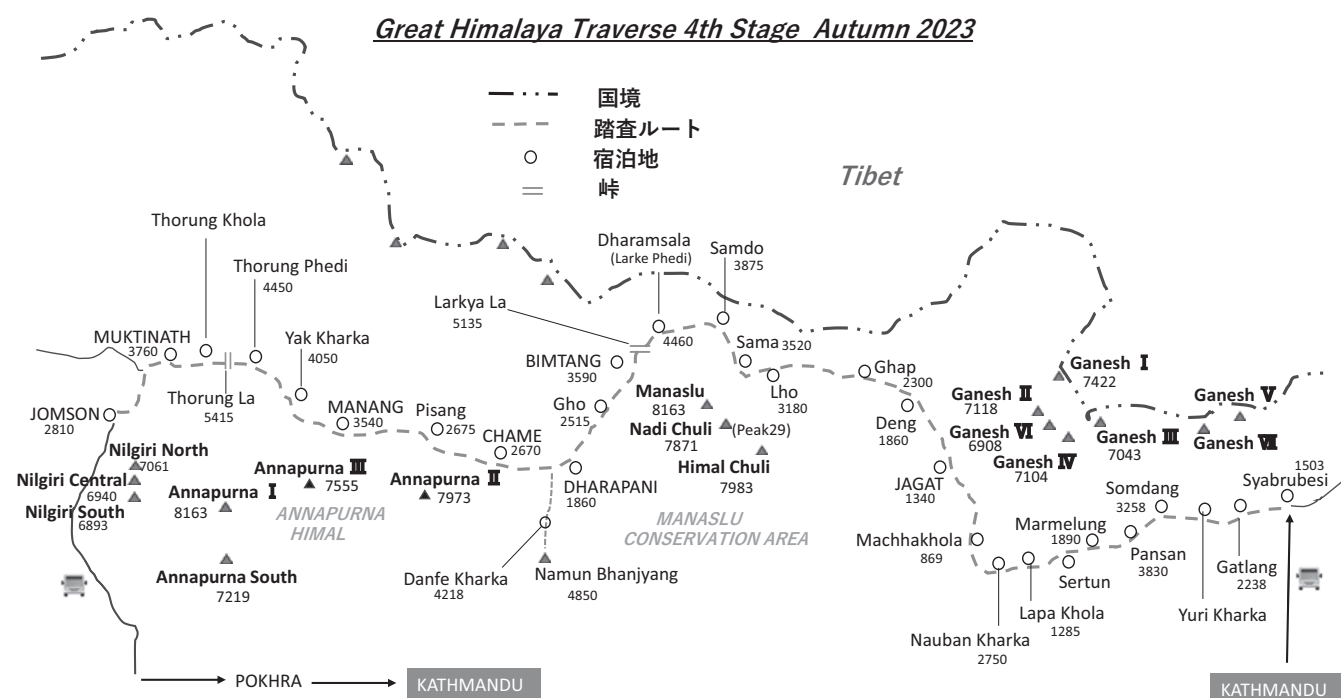
その昔、ヒマラヤ登山を目指すようになった理由の一つに、1950（昭和25）年フランス隊の人類最初の8,000m峰登頂、53（昭和28）年イギリス隊のエベレスト初登頂や56（昭和31）年の日本山岳会によるマナスル初登頂などが契機になったという人が多かった。私もその例にもれず、中学校2年生の時にアンナプルナ隊のモーリス・エルゾグの『処女峰アンナプル』を読み、その翌年ガストン・レビュファの『雪と岩』に触発されて、岩登りを始めたことに端を発する。

カトマンズからチャーターバスで3回目踏査終了点のシャブルベシに復帰した。街にはトレッカーが溢れていたが、東のランタン谷方面に向かう人達が多いのか、西方のガネッシュ山群で会ったトレッカーは3パーティー7人だけであった。途中のパンサン

峠（3,830m）からは、眼前にマナスル（8,163m）～P29（7,871m）～ヒマル・チュリ（7,893m）～パウダ・ヒマル（6,672m）が連なり感動した。いずれも日本隊が初登頂した山である。丁度この頃、ネパール最大の祭りダサインの時期に当たり、カトマンズなどの都市部から帰省する家族や、動物を解体して祭りの準備をする村々を通過した。

マナスル街道に入ると往来する欧米人トレッカーが増えたが、会った日本人は4人だけで、コロナ禍以降急激な円安もあって出足が鈍い感じがした。10月29日、サマ部落から向かったマナスルベースキャンプへの道には、好天が続いたせいなのかもう登山隊の姿はなかった。しかし、ラルキヤ峠（5,135m）を通過するトレッカーは多く、峠での記念写真撮影は順番待ちするほどだった。ビムタン（3,590m）に下るとマナスルを裏側（西面）から眺めるようになり、右手にツラギ（7,059m）やプンギ（6,538m）などの玄人筋に好かれそうな山々が見えて楽しい。

気掛かりだったナムン峠を往復してアンナプルナ



第4回GHT（ガネッシュ～マナスル～アンナプルナエリア）概念図

3. 海外登山記録

街道に戻り、マルシャンディ・コーラ（川）沿いの道を西に進む。マナン（3,540m）までの自動車道路が通じているので車で移動するトレッカーも多く、乾いた未舗装道路なので通行する車が巻き上げる砂塵には閉口した。マナン（3,540m）からルートは北に向かうが後方にはアンナプルナ山群の山々が見えて飽きることがない。地図を抜けての山座同定は、過去に「岩と雪」などで垣間見た記録を思い出す、高齢トレッカーの楽しみの一つである。辿り着いたトロン峠（5,416m）はラルキャ峠を遥かに超える数のトレッカーで賑わっていた。峠からムクチナートに下る途中、左手前方にダウラギリ山群が見え始め、北側には来春に向かう西ネパールの赤茶けた大地と山並みが広がっていた。

ネパールが鎖国を解いた直後の1950年、フランス隊がアンナプルナ I 峰（8,091m）の初登頂を果たしたのは誰もが知る栄光であるが、彼らの当初の目標はダウラギリ I 峰（8,167m）であった。ツクチェから偵察に向かったが余りの峻険さに断念。マルハからティリツォ峠を越えてマナンに至り、その後トロン峠を越えてムクチナートに下山した。そして街道をレテまで下って西面からアンナプルナ西氷河に入って登頂に成功したのである。



サマ部落より暁光のマナスルを見上げる

【行程表】グレートヒマラヤトラバース 4 回目（ガネッシュ～マナスル～アンナプルナエリア）行動記録

グレートヒマラヤトラバース4回目（ガネッシュ～マナスル～アンナプルナエリア）行動記録

No.	日時	曜日	行程	標高	宿	出発時間	到着時間	所要時間	登り累計	下り累計	距離 (km)	備考
1	10月7日	土	NRT～Kathmandu	1,300	Hotel							
2	10月8日	日	Kathmandu	1,300	Hotel							
3	10月9日	月	Kathmandu	1,300	Hotel							
4	10月10日	火	Kathmandu	1,300	Hotel							
5	10月11日	水	Kathmandu～Syabrubesi	1,503	Lodge	6:31	14:05	7:27	3,148	2,663	81.1	
6	10月12日	木	Syabrubesi～Chaurhattar	2,305	Tent	8:17	14:00	5:43	934	66	4.4	
7	10月13日	金	Chaurhattar～Yuri Kharka	3,420	Tent	7:56	16:36	8:40	1,263	160	12.2	
8	10月14日	土	Yuri Kharka～Sondang	3,258	Tent	7:57	11:57	4	378	516	5.2	
9	10月15日	日	Sondang～Pansan Pass	3,835	Tent	7:55	12:14	4:19	655	75	5.5	
10	10月16日	月	Pansan Pass～Poktang Kharka	2,800	Tent	7:56	11:15	3:19	11	1,049	4	
11	10月17日	火	Poktang Kharka～Sertun	1,928	Lodge	7:53	13:06	5:13	293	1,154	7.5	
12	10月18日	水	Sertun	1,928	Lodge							Rest
13	10月19日	木	Sertun～Lapagaon	1,850	Tent	7:47	14:13	6:26	677	893	10.4	
14	10月20日	金	Lapagaon～Nauban Kharka	2,750	Tent	7:48	17:16	9:28	1,484	460	9.6	
15	10月21日	土	Nauban Kharka～Kashigaon	1,933	Tent	7:51	14:01	6:10	604	1,384	11	
16	10月22日	日	Kashigaon～Machhakhola	869	Lodge	8:17	13:03	4:46	226	1,290	7.3	
17	10月23日	月	Machhakhola	869	Lodge							Rest
18	10月24日	火	Machhakhola～Jagat	1,340	Lodge	7:19	15:45	8:26	1,098	608	16.6	
19	10月25日	水	Jagat～Pewa	1,718	Lodge	7:19	16:01	7:19	1,204	807	15.7	
20	10月26日	木	Pewa～Ghap	2,300	Lodge	8:26	15:23	6:57	965	687	9.7	
21	10月27日	金	Ghap～Lho	3,180	Lodge	7:21	17:37	10:16	1,496	442	15.6	
22	10月28日	土	Lho～Sama	3,520	Lodge	7:26	13:02	5:36	689	315	7.7	
23	10月29日	日	Sama	3,520	Lodge	7:03	15:16	7:03	914	910	10.2	ManasluB・C近くまで往復
24	10月30日	月	Sama～Samdo	3,875	Lodge	7:27	11:00	3:33	407	71	7.4	
25	10月31日	火	Samdo～Larke Phedi	4,460	Tent	7:09	11:43	4:34	710	84	5.9	
26	11月1日	水	Larke Phedi～Bimtang	3,590	Lodge	4:15	16:21	12.6	746	1,496	14.8	Lalke La(5,153m)越え
27	11月2日	木	Bimtang～Gowa	2,515	Lodge	7:44	15:13	7:29	292	1,463	13.1	
28	11月3日	金	Gowa～Thonche	1,965	Lodge	7:53	14:16	6:23	150	731	8.1	
29	11月4日	土	Thonche～Timang	2,750	Lodge	8:01	11:51	3:50	760	86	7	
30	11月5日	日	Timang～Danfe Kharka	4,218	Tent	7:50	15:55	7:50	1,706	98	6.3	
31	11月6日	月	Danfe Kharka	4,218	Tent	7:50	14:57	7:07	730	730	6.5	Namun Bhanjyan(4,850m)往復
32	11月7日	火	Danfe Kharka～Timang	2,750	Lodge	7:54	13:29	5:35	108	1,700	6.6	
33	11月8日	水	Timang～Koto	2,600	Lodge	8:07	10:45	2:38	297	286	6.7	
34	11月9日	木	Koto～Pisang	3,200	Lodge	7:17	15:02	7:45	998	408	16	
35	11月10日	金	Pisang～Manang	3,540	Lodge	7:25	14:33	7:08	653	277	15.2	
36	11月11日	土	Manang	3,540	Lodge							Rest
37	11月12日	日	Manang～Ledar	4,450	Lodge	7:20	14:09	6:49	820	148	11.2	
38	11月13日	月	Ledar～High Camp	4,833	Lodge	7:46	12:04	4:18	742	80	5.5	
39	11月14日	火	High Camp～Mukutinath	3,760	Lodge	4:42	13:54	9:12	603	1,788	12.8	Thorung La(5,415m)越え
40	11月15日	水	Mukutinath～Kagbeni～Jomsom	2,720	Lodge	6:03	11:25	5:23	290	525	9.5	チャータージープ
41	11月16日	木	Jomsom～Pokhara	820	Hotel	7:50	14:57	7:07	1,100	2,349	153.6	チャータージープ
42	11月17日	金	Pokhara～Kathmandu	1,300	Hotel	14:50	15:15				144	Buddha Air U4 620便
43	11月18日	土	Kathmandu	1,300	Hotel							
44	11月19日	日	Kathmandu	1,300	Hotel							
45	11月20日	月	Kathmandu	1,300	Hotel							
46	11月21日	火	Khthmandu	1,300	Hotel							
47	11月22日	水	Khthmandu	1,300	Hotel							
48	11月23日	木	Khthmandu	1,300	Hotel							
49	11月24日	金	Khthmandu～	1,300								
50	11月25日	土	～NRT									

Hotel : 12日

Lodge : 25日

Tent : 11日

3. 海外登山記録

第5回目：2024年4月15日～6月26日

ジョムソン～アッパードルポ～ムグ～フムラエリア
(ロルン・ラ往復)

コロナ禍の2020年春に踏査を開始した。しかしその後新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、1年半の中断を余儀なくされた。2022年秋から踏査を再開し、東ネパールから中央ネパールを3度に分けて踏査した。しかし、4回の踏査で「グレートヒマラヤトレイル・ハイルート」1700kmのうち、約1,000kmを踏破したにとどまった。120周年記念の事業として、2025（令和8）年中に終了するために今回は残りの700kmを一気に踏査することにする。

カトマンズから車で2日かけて、4回目の終着地ジョムソンに戻った。その途中のマルハで、チベット潜入前の慧海師が1900（明治33）年3月から6月まで滞在した家を訪れた。

4月26日、慧海師も渡った「百丈の橋」を通過した。

4月28日、1958（昭和33）年、西北ネパール学術探検隊（川喜田二郎隊長）が6ヶ月間に渡って学術調査をしたツアルカ村に到着した。

4月29日、ツアルカ滞在

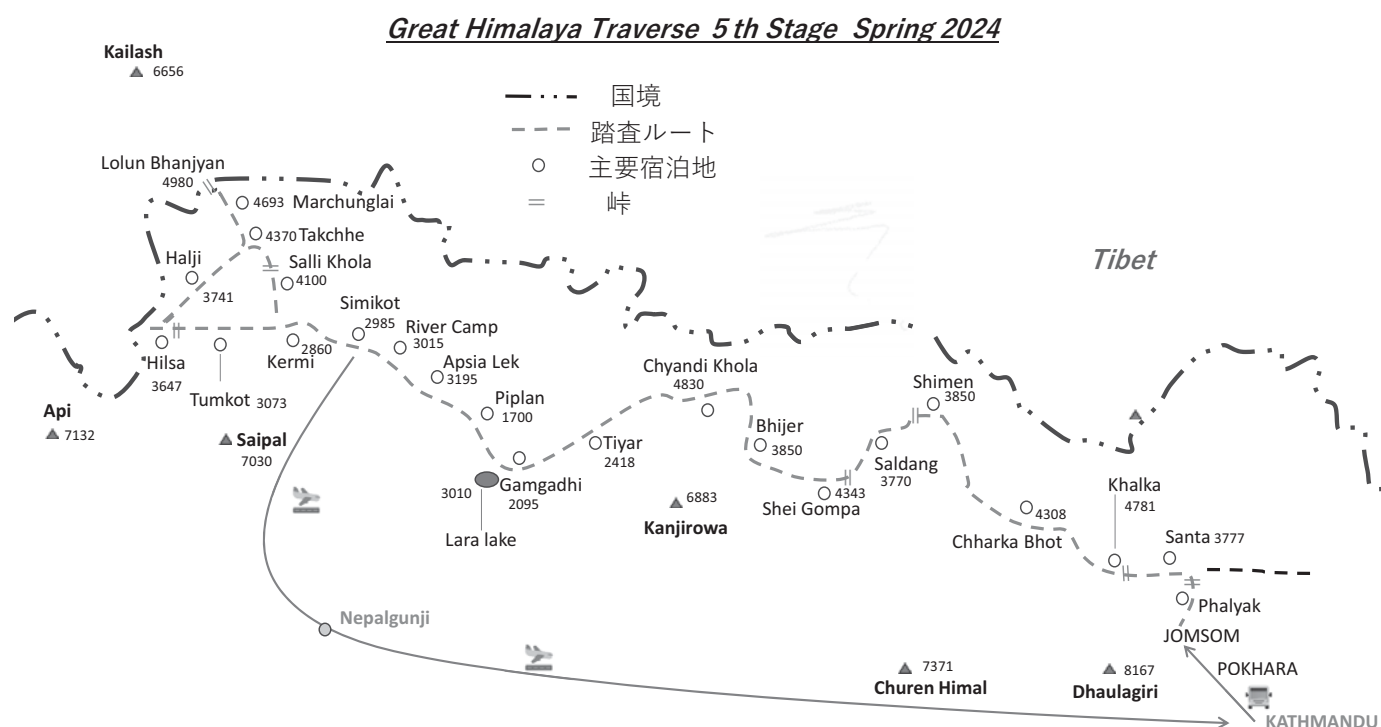
『ヒマラヤに懸ける橋』の根深誠氏が尽力された鉄橋を確認した。

5月9日、シェイゴンパ滞在

隊員は休暇をそれぞれに楽しんだ。キャンプ地の近くで多くの「ハゲワシ」がカツツアル（馬とロバの交雑種）の死骸を啄んでいた。『鳥葬の国』を彷彿させる光景であった。

5月14日、ポーの村を出発して、ニンマ・ギャンツェン峠（5,563m）とリッジ・パス（5,450m）の二つの峠を越えたが、長く険しい行程であった。

5月16日、チャンディー・コーラで「冬虫夏草採り」の大勢の人たちに遭った。ジュムラ辺りから、家族連れで来ているのだという。テントの数から、この谷だけでも1000人を超える入山していると推察できる。



第5回GHT（北西ネパール）概念図

5月24日、ガルマディ滞在
ヒマラヤ山脈で最大のララ湖（2,980m）を訪問。
ネパール人の観光客も多かった。

6月9日、マルチュングライからロルン・ラ
（4,933m）を馬で往復したが、残念ながら念願のカ
イラスを見ることはできなかった。

6月13日、ヒルサに到着。
ネパールと中国の国境の街ではスマートフォンの
時刻表示が、ネパール時間になったり中国時間になっ
たりしたのは驚いた。

6月15日、ヒルサからシミコットまで約90kmの自
動車道をジープで戻った。悪路ではあるが、歩くと
6日間の行程が7時間半ほどだった。

6月16日、シミコットから空路（ネパールガンジ
経由）カトマンズに戻った。



河口慧海も渡った百丈の橋

【行程表】グレートヒマラヤトラバース 5 回目（北西ネパール）行動記録①

日数	月日	曜日	行程	所要時間	標高（m）	備考（峠標高）	宿泊
1	4月15日	月	NRT～KTM				Hotel
2	4月16日	火	Kathmandu			両替	Hotel
3	4月17日	水	Kathmandu			共同装備	Hotel
4	4月18日	木	Kathmandu			個人装備	Hotel
5	4月19日	金	Kathmandu～Pokhara			チャーターバス	Hotel
6	4月20日	土	Pokhara～Jomsom			チャーターバス	Lodge
7	4月21日	日	Jomsom			Rest	Lodge
8	4月22日	月	Jomsom～Phalyak				Tent
9	4月23日	火	Phalyak～YakKharuka				Tent
10	4月24日	水	Yakkharuka～P3810～P4306～Bhima Lojun La～Santa	8	3777	4460m	Tent
11	4月25日	木	Santa		3777	Rest	Tent
12	4月26日	金	Santa～Ghalden Ghuldun Khola Camp	6	4247		Tent
13	4月27日	土	Ghalden Ghuldun Khola Camp～Jungben La～Niwas La～Nulungsumda	7	4987	5550m・5120m	Tent
14	4月28日	日	Nulungsumda Khalka～Chharka Bhot	5	4302		Tent
15	4月29日	月	Chharka Bhot		4302	Rest	Tent
16	4月30日	火	Chharka Bhot～Mola La～Kharka			5030m	Tent
17	5月1日	水	Kharka～Campsait		4210		Tent
18	5月2日	木	Campsait～Chhamdang		4240		Tent
19	5月3日	金	Chhamdang～Tinje		4110		Tent
20	5月4日	土	Tinje～Shimen		3850		Tent
21	5月5日	日	Shimen		3850	Rest	Tent
22	5月6日	月	Shimen～Nangla Pass～Khoma		4060	4260m	Tent
23	5月7日	火	Khoma～Saldang	3	3770		Tent
24	5月8日	水	Saldang～Namugung	7	4360		Tent
25	5月9日	木	Namugung～Sela La～Shei Gompa		4343	5095m	Tent

3. 海外登山記録

【行程表】グレートヒマラヤトラバース 5 回目（北西ネパール）行動記録②

日数	月日	曜日	行程	所要時間	標高 (m)	備考 (峠標高)	宿泊
26	5月10日	金	Shei Gompa		4343	Rest	Tent
27	5月11日	土	Shei Gompa (Round Crystal Mountain)Shey Gompa		4343		Tent
28	5月12日	日	Shey Gompa～Bhijer	8	3850		Tent
29	5月13日	月	Bhijer～Yambur La～Pho	9	4087	4813m	Tent
30	5月14日	火	Pho～Nyingma Gyanzen La～Ridge Pass～Pung Kharka	9	4650	Rest	Tent
31	5月15日	水	Pung Kharka～Yala La～Chyandi Khola	5	4830	5414m	Tent
32	5月16日	木	Chyandi Khola～Takla Khola	7	3785	4450m	Tent
33	5月17日	金	Takla Khola～Chyarga La～Thajuchrur	7	4050	5150m	Tent
34	5月18日	土	Thajuchrur～Shilenchaura Kharka	6	2945	Rest	Tent
35	5月19日	日	Shilenchaura Kharka～Tiyar	3	2418		Tent
36	5月20日	月	Tiyar～Mangri	4	1950		Tent
37	5月21日	火	Mangri～Gamgadhi	4	2095		Tent
38	5月22日	水	Gamgadhi～Rara		3010		Lodge
39	5月23日	木	Rara		3010	Rest	Lodge
40	5月24日	金	Rara～Gamgadhi	5	2095		Tent
41	5月25日	土	Gamgadhi～Bam	5	2700		Tent
42	5月26日	日	Bam～Jogimara	7	3005		Tent
43	5月27日	月	Jogimara～Piplan	8	1700		Tent
44	5月28日	火	Piplan～Apsia Lek	8	3195		Tent
45	5月29日	水	Apsia Lek～Punka Khola	5	3010		Tent
46	5月30日	木	Punka Khola～Margor Lek Bhanjyang～River Camp	4	3015	4037m	Tent
47	5月31日	金	River Camp～Simikot	7	2985		Lodge
48	6月1日	土	Simikot		2985	Rest	Lodge
49	6月2日	日	Simikot～Dharapori	5	2360		Tent
50	6月3日	月	Dharapori～Kermi	5	2860		Tent
51	6月4日	火	Kermi～Salli Khola	6	4100		Tent
52	6月5日	水	Salli Khola～Nyalu La～Talun Camp	5	4380	5001m	Tent
53	6月6日	木	Talun Camp～Traktse	4	4370		Tent
54	6月7日	金	Traktse～Risarba	6	4800		Tent
55	6月8日	土	Risarba		4800	Rest	Tent
56	6月9日	日	Risarba～Lolun Bhanjyan L～Risarba	6	4800	4933m	Tent
57	6月10日	月	Risarba～Jang	6	3900		Tent
58	6月11日	火	Jang～Halji	6	3741		Tent
59	6月12日	水	Halji～Tiljung	2	3577		Tent
60	6月13日	木	Tiljung～Manepeme	6	3950		Tent
61	6月14日	金	Manepeme～Hilsa	5	3647		Lodge
62	6月15日	土	Hilsa		3647	Rest	Lodge
63	6月16日	日	Hilsa～Cho Lagna～Nara La～Yari	6	3663	4107m・4560m	Tent
64	6月17日	月	Yari～Tumkot	5	3073		Tent
65	6月18日	火	Tumkot～Taplung	5	3060		Tent
66	6月19日	水	Taplung～Kermi	5	2860		Tent
67	6月20日	木	Kermi～Dharapori	5	2360		Tent
68	6月21日	金	Dharapori～Shimikot	5	2800		Lodge
69	6月22日	土	Shimikot		2800	Rest	Lodge
70	6月23日	日	Shimikot～Nepalgunji～Kathmandu		1300	飛行機	Hotel
71	6月24日	月	Kathmandu		1300	隊荷整理	Hotel
72	6月25日	火	Kathmandu		1300	隊荷整理	Hotel
73	6月26日	水	Kathmandu		1300	隊荷整理	Hotel
74	6月27日	木	Kathmandu		1300	隊荷整理	Hotel
75	6月28日	金	Kathmandu～				
76	6月29日	土	～NRT				

Hotel : 10日

Lodge : 10日

Tent:54日

第6回目：2024年10月1日～11月24日

インドヒマラヤ（ナンダ・デヴィ南面・西面～ヒンズー教三大聖地～ダラムサラ～ラダック横断）、カンヤツェⅡ峰（6,240m）登頂

10月1日～22日

デリーから電車と車を使い継いでムンシャリまで移動。車道は細く曲がりくねっているが、日本の林道のように、途中ナンダ・デヴィとナンダコートが遠望できた。7日からナンダ・デヴィ東BCに向けてスタート。ナンダ・デヴィ方面は厚い雲に覆れていたが、11日夜半からナンダ・デヴィが現れた。翌日マルトリまで下った。1936年、日本人によるヒマラヤ初登頂となったナンダコット隊も滞在した村である。

当初予定していたダランシ・パスルートは渇水期で水が無いため断念。代替のクアリ・パス（3,720m）ルートは、遠い昔、ロード・カーゾン卿、ティルマンやシプトンも通過している。尾根筋からはナンダ・デヴィをはじめとしてチャンガバン、ドゥナギリ、カメットなど日本人が登頂した山々の展望が素晴らしかった。

ヒンズー教三大聖地巡礼

10月23日～11月3日

インド・ガルワールの最奥の村、マナ村を散策。バドリナート寺院を参拝した。ヒンズー教総本山ケデルナート寺院は、徒歩、馬、籠で参拝する人の数が一日数千人にもものぼると言われている。寺院に参拝する長蛇の列は途切れることなく、本尊を拝むまで5時間半もかかった。29日、ウッタラカシのネルー



第6回GHT（インドヒマラヤ）概念図

3. 海外登山記録

登山学校を訪問した。ガンゴトリ寺院は11月1日に閉門するため参拝客も少なかった。

ダラムサラ訪問

11月4日～11日

マクロードガンジではダライ・ラマ公邸を訪問し、チベット文化に触れた。インド人や欧米人が多く訪れるカレリ湖トレックを歩いた。10日は天候不良でフライトキャンセルに、11日にレーに到着した。現地ガイドと合流し、装備のチェックを受けた。

ラダック踏査（カンヤツェⅡ 6,240m登頂）

11月12日～24日

レーの街は、オフシーズンで閑散としていたが、ホテルが林立し、さらに至る所で新たなホテル建設が行われていた。12日、晩秋のカンヤツェⅡ峰登頂

に向けホテルを車で出発し、マルカ谷で下車。荒涼とした道を歩く。集落では民泊の案内が出され、シーズンには満杯になるという。14日、飯田隊員は体調不良で下山し、その日のうちにレーまで下った。隊員3名は、BCに向かう。15日、午前中、高所順応を兼ねて5,400m付近まで荷揚げをした。16日、午前1時、 -20°C の中、重廣と吉井がガイド2名と共に山頂を目指してアタック開始。中村隊員は、高度障害により夜が明けるのを待って下山し、その日のうちにレーまで下った。登頂隊は、12時半過ぎ登頂、18時過ぎにBCに戻った。重廣は低温下（ -30°C ）での長時間（標高差1,200m、17時間）行動で両手に凍傷を負った。



カンヤツェⅡ峰山頂

【行程表】グレートヒマラヤトラバース 6 回目（インドヒマラヤ）行動記録

グレートヒマラヤトラバース6回目（インドヒマラヤ）行動記録

No.		曜日	行程	標高（m）	峠標高（m）	距離(km)	宿泊
1	10月1日	火	HND～Delhi	300		5,800	H
2	10月2日	水	Delli	300			H
3	10月3日	木	Delli	300			H
4	10月4日	金	Delhi～Kathgodam(By train) Kathgodam(By Car)Almola	1,651		523	H
5	10月5日	土	Almola(By Car)Munsyari	2,272		190	H
6	10月6日	日	Munsyari (Rest)	2,272		6	H
7	10月7日	月	Munsyari(By Car)Lilam(By Car)Ragari～Bugdiyar	2,438		38	T
8	10月8日	火	Bugdiyar～Rilkot	3,161		16	T
9	10月9日	水	Rilkot～Ghandhar	3,419		14	T
10	10月10日	木	Ghandhar～Nanda Devi east Base Camp	3,917		5	T
11	10月11日	金	Nanda Devi east Base Camp～Martoli	3,394		15	T
12	10月12日	土	Martoli～Nahar Devi	2,746		18	T
13	10月13日	日	Nahar Devi～Ragari(By Car)Lilam(By Car)Munsyari	2,272		42	H
14	10月14日	月	Munsyari(By Car)Bageshwar	2,320		125	H
15	10月15日	火	Bageshwar(By Car)Joshimath	1,896		194	H
16	10月16日	水	Joshimath (Rest)	1,896			H
17	10月17日	木	Joshimath(By Car)Auli～Tali Forest Camp	3,351		23	T
18	10月18日	金	Tali Forest Camp～Kuari Pass～Dakwani	3,146	3,722	8	T
19	10月19日	土	Dakwani～Pana	2,764		9	T
20	10月20日	日	Pana～Semkharka	2,633		15	T
21	10月21日	月	Semkharka～Ramni Pass～Ramni	2,557	3,196	10	T
22	10月22日	火	Ramni(By Car)Joshimath	1,892		109	H
23	10月23日	水	Joshimath(By Car)Badrinath～Mana～Badrinath	3,141		52	H
24	10月24日	木	Badrinath(By Car)Joshimath～Pipalkoti	1,391		76	H
25	10月25日	金	Pipalkoti(By Car)Guptkashi	1,447		132	H
26	10月26日	土	Guptkashi(By Car)Gaurikund～Kedarnath	3,555		42	H
27	10月27日	日	Kedarnath (Rest)	3,555			H
28	10月28日	月	Kedarnath(By Horse)Gauricand)(By Car)Guptkashi	1,446		44	H
29	10月29日	火	Guptkashi(By Car)Uttarkashi	1,361		215	H
30	10月30日	水	Uttarkashi(By Car)Gangotri	3,077		93	H
31	10月31日	木	Gangotri(By Car)Uttarkashi	1,242		95	H
32	11月1日	金	Uttarkashi(By Car)Rishikeshi	377		168	H
33	11月2日	土	Rishikeshi(By Car)Delhi	300		241	H
34	11月3日	日	Delhi (Rest)	300			H
35	11月4日	月	Delhi(By Plane)Dharamshala(By Car)McLeodganji(By Car)Naddi	1,767			H
36	11月5日	火	Naddi (Rest)	1,767		34	H
37	11月6日	水	Naddi(By Car)Kareri Village～Jammukot	2,628		42	T
38	11月7日	木	Jammukot～Riyoti～Kareri Lake～Kareri Lake Camp	2,900	⇔2,952	13	T
39	11月8日	金	Kareri Lake Camp～Riyoti Village(By Car)Kareri Village(By Car)Naddi	1,767		43	H
40	11月9日	土	Naddi(By Car)Jammu	386		224	H
41	11月10日	日	Jammu (No Flight))	386			H
42	11月11日	月	Jammu(By Plane)Leh	3,448		362	H
43	11月12日	火	Leh(By Car)Chilling(By Car)Markha Campsaite	3,757		95	T
44	11月13日	水	Markha Campsite～Thachungtse	4,230		15	T
45	11月14日	木	Thachungtse～BC	5,057		6	T
46	11月15日	金	BC (Acclimatization to High altitude)	5,057	⇔5,429	4	T
47	11月16日	土	BC～Mt.Kang Yatse II ～BC	5,057	⇔6,240	11	T
48	11月17日	日	BC～Hankar	3,996		13	T
49	11月18日	月	Hankar(By Car)Chilling(By Car)Leh	3,448		106	H
50	11月19日	火	Leh (Sightseeing)	3,448			H
51	11月20日	水	Leh(By Plane)Srinagar	1,673		233	H
52	11月21日	木	Srinagar (Sightseeing)	1,673			H
53	11月22日	金	Srinagar(By Plane)Delhi	300			H
54	11月23日	土	Delhi	300			H
55	11月24日	日	Delhi～HND			5,800	

3. 海外登山記録

第7回目：

A隊：2025年6月16日～8月10日

バルトロ氷河～ガッシャーブルムBC往復～
ビアフォ氷河～ヒスパール氷河横断

B隊：2025年6月16日～7月22日

バルトロ氷河～ガッシャーブルムBC往復

C隊：2025年6月16日～8月10日

バルトロ氷河～ガッシャーブルムBC往復～
スパンティーク（7,027m）登山

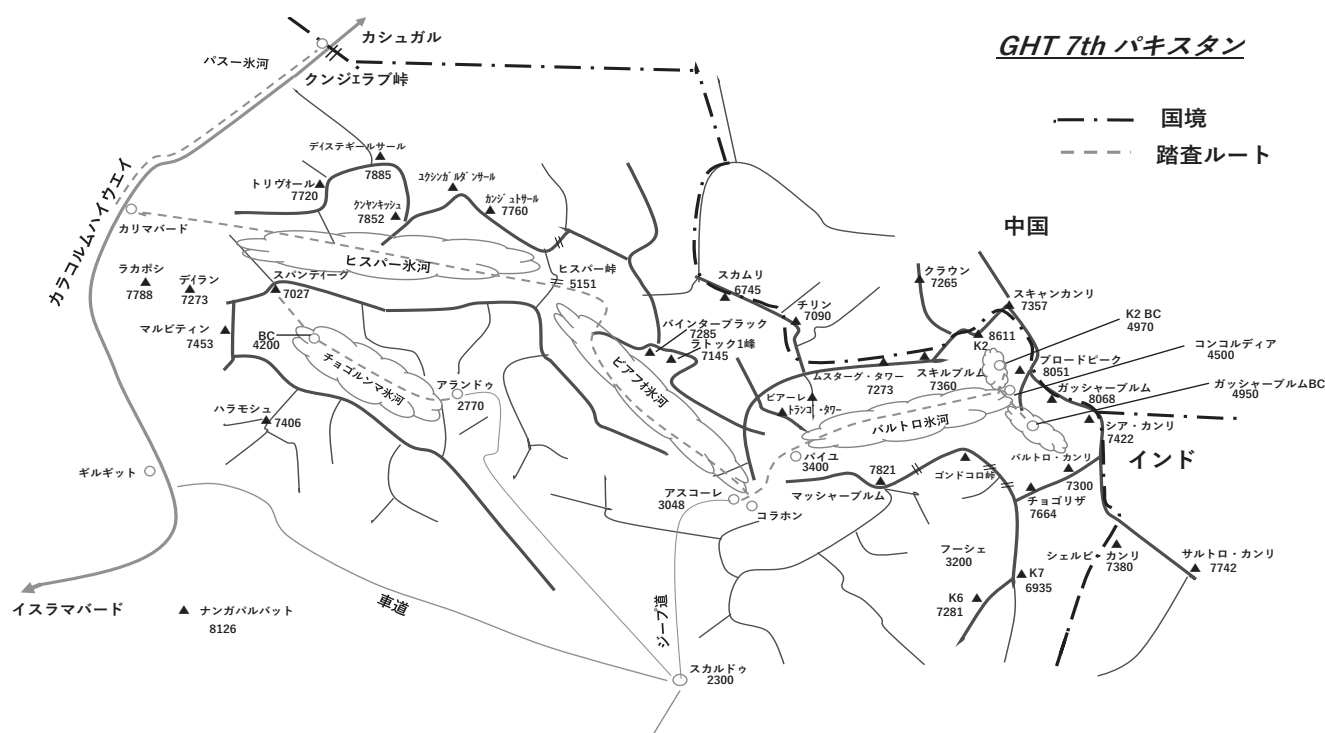
グレート・ヒマラヤ・トラバース最終回は波乱の幕開けとなった。重廣のビザの発給が発行に間に合わず、6月16日関西国際空港で吉井隊員を副隊長に指名、併せて当初計画のA隊のバルトロ氷河からゴンドコロ峠～フーシェ～スカルドゥの行程を変更し、B隊・C隊と同じようにK2BCを訪問した後、ガッシャーブルムBCから往路をスカルドゥに戻ることにした。

6月18日イスラマバードからスカルドゥに移動し

た11名は、予定通り車でアスコールに到着し、22日キャラバンを開始してパイユに向かった。しかし、直後に松田隊員が重度の熱中症が起因する急性腎不全で、25日パイユからヘリコプターでスカルドゥの陸軍病院に搬送された。同日、スカルドゥに到着した重廣は、意識の混濁した松田隊員を目の前にしてイスラマバードへの移送を決断。27日イスラマバードのShifa国際病院への入院手続きを完了して、28日スカルドゥを出発しバルトロ氷河へと向かった。

先行パーティーは26日パイユを出発し、順調にコンコルディアを経てK2BCに到着、その後ガッシャーブルムBCを往復してコンコルディアに戻った。28日スカルドゥを出発した重廣はリリゴから馬に乗り、K2BCを往復した後、7月6日夕方コンコルディアでガッシャーブルムBCから戻ってきた先行パーティーと合流した。その後全員でスカルドゥに戻った。

スカルドゥで3日間休養したのち、C隊2名は16日スパンティーク（7,027m）に向けてアランドゥに向かい、A隊5名はビアフォ氷河からヒスパール氷河



第7回GHT（カラコルムヒマラヤ）概念図

の横断を目指してアスコレーに向かった。B隊3名と重廣は17日イスラマバードに戻った。同日夜松田隊員が21日間入院していたShifa国際病院を退院しホテルに入った。20日アスコレーで体調を崩した轟隊員が単身イスラマバードに戻ってきた。21日夜の便でB隊4名が帰国の途についた。22日松田隊員は、成田国際空港で伊丹事務局長らに迎えられ、その足で西新橋の東京慈恵会医科大学付属病院に入院した。重廣と轟隊員はA隊への途中合流を諦めフンザでA隊を待つことにし、23日イスラマバードを出発、スカルドゥを経て24日アリアバードに入った。

A隊4名は、ビアフォ氷河を進みラトック山群やバインター・ブラックなどが猛々しく屹立している岩峰群を俯瞰しながら、70年代後半から80年代にかけて行われた「鉄の時代」のヒマラヤ登攀に思いを巡らせた。ヒスパー峠に向かう頃より氷上のクレバスも多くなり、ロープを結んで安全を確保した。広大なスノーレイクを目の当たりにしながらヒスパー峠を越えた。ヒスパー氷河に流れ込んでいるいくつかの氷河の横断は起伏が激しく苦労したが、予定より1日早く31日にカリマバードに到着し、重廣・轟と合流しパサーからスストを経てクンジェラブ峠に向かった。C隊2名は、21日より登山を開始したが後半悪天候に見舞われ、29日にC3(6,050m)で2日間待機した後下山した。C隊2名は3日、A隊6名は8月5日スカルドゥに戻り、6日にイスラマバードに移動、残務整理の後予定通り10日に帰国した。

グレート・ヒマラヤ・トラバース総括

- ・2020年春より25年夏まで6（途中コロナ禍により1年半休止）年をかけ、先人たちの足跡を辿り、その挑戦の歴史に触れる温故知新の山旅を目指した。
- ・ネパールの東端にある世界第3位の高峰カンチェ

ンジュンガ(8,586m)山麓からスタートし、インドヒマラヤ、カラコルム山脈を横断して世界第2位の高峰K2(8,611m)へと至る約5,000kmのトレイルを400日かけて踏査した。

踏査で得られた知見

1. 日本と世界のヒマラヤ登山の歴史の再確認
2. 気候変動の深刻な影響の確認
3. 社会・文化の変化の確認
4. 国境間紛争の歴史再認識

※踏査の詳細については、会報『山』・『山岳』・日本山岳会HP（グレート・ヒマラヤ・トラバース（GHT） | 公益社団法人日本山岳会）をご覧ください。



コンコルディアにて

3. 海外登山記録

【行程表】グレートヒマラヤトラバース7回目A隊（カラコルムヒマラヤ）行動記録

グレートヒマラヤトラバース7回目A隊（カラコルムヒマラヤ）行動記録

	年月日	曜日	行程	出発時間	到着時間
1	2025/6/16	月	HND/KIX～Bangkok～Islamabad		
2	2025/6/17	火	Islamabad		
3	2025/6/18	水	Islamabad～Skardu	8:35	10:50
4	2025/6/19	木	Skardu		
5	2025/6/20	金	Skardu		
6	2025/6/21	土	Skardu～Askole	6:00	13:00
7	2025/6/22	日	Askole～Korophon～Jhola	5:50	15:10
8	2025/6/23	月	Jhola～Monjing	6:00	11:20
9	2025/6/24	火	Monjing～Paiyu	6:05	10:40
10	2025/6/25	水	Paiyu		
11	2025/6/26	木	Paiyu～Khoburtse	6:20	15:35
12	2025/6/27	金	Khoburtse～Urdukas	6:00	10:45
13	2025/6/28	土	Urdukas～Gore II	6:00	14:05
14	2025/6/29	日	Gore II～Concordia	6:00	15:00
15	2025/6/30	月	Concordia～Broad Peak BC	6:00	11:50
16	2025/7/1	火	Broad Peak BC～K2BC	7:00	11:40
17	2025/7/2	水	K2BC～Concordia	6:00	14:00
18	2025/7/3	木	Concordia		
19	2025/7/4	金	Concordia～Shagring	6:00	13:25
20	2025/7/5	土	Shagring～Gasherbrum BC	5:55	10:05
21	2025/7/6	日	Gasherbrum BC～Concordia	5:40	15:45
22	2025/7/7	月	Concordia		
23	2025/7/8	火	Concordia～Gore I	6:00	15:50
24	2025/7/9	水	Gore I～Khoburtse	5:50	15:10
25	2025/7/10	木	Khoburtse～Paiyu	5:50	14:00
26	2025/7/11	金	Paiyu～Jhola	5:55	14:45
27	2025/7/12	土	Jhola～Askole	6:30	8:20
28	2025/7/13	日	Askole～Skardu	7:05	13:50
29	2025/7/14	月	Skardu		
30	2025/7/15	火	Skardu		
31	2025/7/16	水	Skardu		
32	2025/7/17	木	Skardu～Askole	6:00	13:05
33	2025/7/18	金	Askole～Namla	6:35	15:30
34	2025/7/19	土	Namla～Shafong	5:40	13:55
35	2025/7/20	日	Shafong～Baintha（Baintha Lukpar Glacier Search）	6:40	8:35
36	2025/7/21	月	Baintha		
37	2025/7/22	火	Baintha～Marphogoro	5:55	11:20
38	2025/7/23	水	Marphogoro～Karpogoro	6:10	10:30
39	2025/7/24	木	Karpogoro～Snow Lake	6:15	11:30
40	2025/7/25	金	Snow Lake～Hispar La（5170m）～Khanibasa	6:00	13:30
41	2025/7/26	土	Khanibasa～Hagure Shangiching	6:00	12:00
42	2025/7/27	日	Hagure Shangiching～Shiqam Baris	5:40	12:45
43	2025/7/28	月	Shiqam Baris～Bitanmal	5:45	11:00
44	2025/7/29	火	Bitanmal～Ghurbua	6:15	10:35
45	2025/7/30	水	Ghurbua～Hisper	6:35	8:30
46	2025/7/31	木	Hispar～Karimabad	8:30	12:10
47	2025/8/1	金	Karimabad		
48	2025/8/2	土	Karimabad（Ultar G～Ultar II 峰・Gulmit・Passu G）Passu	8:30	11:15
49	2025/8/3	日	Passu（Batura G、Khunjerab Pass）Sost	8:00	13:35
50	2025/8/4	月	Sost - Karimabad	8:00	10:45
51	2025/8/5	火	Karimabad～Skardu	8:00	17:45
52	2025/8/6	水	Skardu～Islamabad	11:30	17:00
53	2025/8/7	木	Islamabad		
54	2025/8/8	金	Islamabad		
55	2025/8/9	土	Islamabad～Bangkok		
56	2025/8/10	日	Bangkok～NRT/KIX		

【行程表】グレートヒマラヤトラバース7回目B隊（カラコルムヒマラヤ）行動記録

グレートヒマラヤトラバース7回目B隊・重廣（カラコルムヒマラヤ）行動記録

	年月日	曜日	行程	松田	重廣
1	2025/6/16	月	HND/KIX～Bangkok～Islamabad	HND～BKK～ISB	
3	2025/6/17	火	Islamabad	Islamabad	
4	2025/6/18	水	Islamabad～Skardu	Islamabad～Skardu	
5	2025/6/19	木	Skardu	Skardu	
6	2025/6/20	金	Skardu	Skardu	
7	2025/6/21	土	Skardu～Askole	Skardu～Askole	
8	2025/6/22	日	Askole～Korophon～Jhola	Askole～Jhola	
9	2025/6/23	月	Jhola～Monjing	Jhola～Monjing	KIX～Bangkok～Islamabad
10	2025/6/24	火	Monjing～Paiyu	Monjing～Paiyu	Islamabad
11	2025/6/25	水	Paiyu	Paiyu (H) Skardu	Islamabad～Skardu
12	2025/6/26	木	Paiyu～Khoburtse	Skardu	Skardu
13	2025/6/27	金	Khoburtse～Urdukas	Sukadu (P) ISB SH	Skardu
14	2025/6/28	土	Urdukas～Gore II	Islamabad Shifa HP	Skardu～Askole～Jhola
15	2025/6/29	日	Gore II～Concordia	Islamabad Shifa HP	Jhola～Monjin
16	2025/6/30	月	Concordia～Broad Peak BC	Islamabad Shifa HP	Monjin～Paiyu
17	2025/7/1	火	Broad Peak BC～K2 BC	Islamabad Shifa HP	Paiyu～LiligoCamp
18	2025/7/2	水	K2 BC～Concordia	Islamabad Shifa HP	LiligoCamp～Urdukas
19	2025/7/3	木	Concordia	Islamabad Shifa HP	Urdukas～Gore II
20	2025/7/4	金	Concordia～Shagring	Islamabad Shifa HP	Gore II～Concordia
21	2025/7/5	土	Shagring～Gasherbrum BC	Islamabad Shifa HP	Concordia～K2 BC
22	2025/7/6	日	Gasherbrum BC～Concordia	Islamabad Shifa HP	K2 BC～Concordia
23	2025/7/7	月	Concordia	Islamabad Shifa HP	Concordia
24	2025/7/8	火	Concordia～Gore I	Islamabad Shifa HP	Concordia～Gore I
25	2025/7/9	水	Gore I～Khoburtse	Islamabad Shifa HP	Gore I～Khoburtse
26	2025/7/10	木	Khoburtse～Paiyu	Islamabad Shifa HP	Khoburtse～Paiyu
27	2025/7/11	金	Paiyu～Jhola	Islamabad Shifa HP	Paiyu～Jhola
28	2025/7/12	土	Jhola～Askole	Islamabad Shifa HP	Jhola～Askole
29	2025/7/13	日	Askole～Skardu	Islamabad Shifa HP	Askole～Skardu
30	2025/7/14	月	Skardu	Islamabad Shifa HP	Skardu
31	2025/7/15	火	Skardu	Islamabad Shifa HP	Skardu
32	2025/7/16	水	Skardu	Islamabad Shifa HP	Skardu
33	2025/7/17	木	Skardu～Islamabad	Islamabad Shifa HP	Skardu～Islamabad
34	2025/7/18	金	Islamabad	Islamabad	Islamabad
35	2025/7/19	土	Islamabad	Islamabad	Islamabad
36	2025/7/20	日	Islamabad	Islamabad	Islamabad
37	2025/7/21	月	Islamabad～Bangkok	Islamabad～BKK	Islamabad
38	2025/7/22	火	Bangkok～NRT/KIX	BKK～NRT	Islamabad
39	2025/7/23	水			Islamabad～Skardu
40	2025/7/24	木			Skardu～Aliabad
41	2025/7/25	金			Aliabad
42	2025/7/26	土			Aliabad～Minapin～Hopa Kund Camp
43	2025/7/27	日			Hopa Kund Camp～Rakaposhi BC
44	2025/7/28	月			Rakaposhi BC～Diran BC～Rakaposhi BC
45	2025/7/29	火			Rakaposhi BC～Minapin～Karimabad
46	2025/7/30	水			Krimabad
47	2025/7/31	木			Krimabad
48	2025/8/1	金			Karimabad
49	2025/8/2	土			Karimabad～Passu
50	2025/8/3	日			Passu～Sost
51	2025/8/4	月			Sost - Karimabad
52	2025/8/5	火			Karimabad～Skardu
53	2025/8/6	水			Skardu～Islamabad
54	2025/8/7	木			Islamabad
55	2025/8/8	金			Islamabad
56	2025/8/9	土			Islamabad～Bangkok
57	2025/8/10	日			Bangkok～KIX

H : Helicopter

P : Plane

HP : Hospital

3. 海外登山記録

【行程表】グレートヒマラヤトラバース7回目C隊（カラコルムヒマラヤ）行動記録

グレートヒマラヤトラバース7回目C隊（カラコルムヒマラヤ）行動記録

No.	年月日	曜日	行程	出発時間	到着時間
1	2025/6/16	月	HND～Bangkok～Islamabad		22:10
2	2025/6/17	火	Islamabad		
3	2025/6/18	水	Islamabad～Skardu	8:35	10:50
4	2025/6/19	木	Skardu		
5	2025/6/20	金	Skardu		
6	2025/6/21	土	Skardu～Askole	6:00	13:00
7	2025/6/22	日	Askole～Korophon～Jhola	5:50	15:10
8	2025/6/23	月	Jhola～Monjing	6:00	11:20
9	2025/6/24	火	Monjing～Paiyu	6:05	10:40
10	2025/6/25	水	Paiyu		
11	2025/6/26	木	Paiyu～Khoburtse	6:20	15:35
12	2025/6/27	金	Khoburtse～Urdukas	6:00	10:45
13	2025/6/28	土	Urdukas～Gore II	6:00	14:05
14	2025/6/29	日	Gore II ～Concordia	6:00	15:00
15	2025/6/30	月	Concordia～Broad Peak BC	6:00	11:50
16	2025/7/1	火	Broad Peak BC～K2BC	7:00	11:40
17	2025/7/2	水	K2BC～Concordia	6:00	14:00
18	2025/7/3	木	Concordia		
19	2025/7/4	金	Concordia～Shagring	6:00	13:25
20	2025/7/5	土	Shagring～Gasherbrum BC	5:55	10:05
21	2025/7/6	日	Gasherbrum BC～Concordia	5:40	15:45
22	2025/7/7	月	Concordia		
23	2025/7/8	火	Concordia～Gore I	6:00	15:50
24	2025/7/9	水	Gore I ～Khoburtse	5:50	15:10
25	2025/7/10	木	Khoburtse～Paiyu	5:50	14:00
26	2025/7/11	金	Paiyu～Jhora	5:55	14:45
27	2025/7/12	土	Jhola～Askole	6:30	8:20
28	2025/7/13	日	Askole～Skardu	7:05	13:50
29	2025/7/14	月	Skardu		
30	2025/7/15	火	Skardu		
31	2025/7/16	水	Skardu～Arandu	7:20	15:50
32	2025/7/17	Thu	Arandu～Manpe-Khuro	7:45	13:35
33	2025/7/18	Fri	Manpe-Khuro～Bolocho	7:10	14:30
34	2025/7/19	Sat	Bolocho～Spantik BC	6:55	11:40
35	2025/7/20	Sun	BC		
36	2025/7/21	Mon	BC～C1(11:35)～BC	8:15	13:55
37	2025/7/22	Tue	BC		
38	2025/7/23	Wed	BC～C1	12:20	15:15
39	2025/7/24	Thu	C1～BC	8:10	9:20
40	2025/7/25	Fri	BC～C1	12:45	15:15
41	2025/7/26	Sat	C1		
42	2025/7/27	Sun	C1～C2	6:30	11:00
43	2025/7/28	Mon	C2		
44	2025/7/29	Tue	C2～C3	6:35	11:05
45	2025/7/30	Wed	C3		
46	2025/7/31	Thu	C3～BC	9:30	16:10
47	2025/8/1	Fri	BC		
48	2025/8/2	Sat	Spantik BC～Chogo Brangsa	9:05	19:20
49	2025/8/3	Sun	Chogo Brangsa～Arandu (11:20)～Skardu	8:00	19:45
50	2025/8/4	Mon	Skardu		
51	2025/8/5	Tue	Skardu		
52	2025/8/6	Wed	Skardu～Islamabad		
53	2025/8/7	Thu	Islamabad		
54	2025/8/8	Fri	Islamabad		
55	2025/8/9	Sat	Islamabad～Bangkok		
56	2025/8/10	Sun	Bangkok～NRT		

グレート・ヒマラヤ・トラバース参加者

1. 味岡四郎（関西支部）	1960年7月9日	3回目参加
2. 阿部君枝（千葉支部）	1955年3月20日	7回目参加
3. 飯田邦幸（東京支部）	1954年9月1日	3・4・5・6・7回目参加
4. 梅村一之（福島支部）	1958年7月7日	7回目参加
5. 重廣恒夫（関西支部）	1947年10月11日	1・2・3・4・5・6・7回目参加
6. 榛葉千穂（千葉支部）	1967年11月24日	7回目参加
7. 轟 涼（埼玉支部）	1956年8月17日	5・7回目参加
8. 中谷康司（神奈川支部）	1975年11月11日	7回目参加
9. 中谷みどり（首都圏）	1987年12月14日	7回目参加
10. 中村三佳（関西支部）	1963年7月12日	3・6・7回目参加
11. 藤井正善（千葉支部）	1947年3月18日	2・3回目参加
12. 松田宏也（千葉支部）	1955年12月28日	1・7回目参加
13. 丸尾祐二（静岡支部）	1944年12月4日	2回目参加
14. 柳田泰則（多摩支部）	1967年4月10日	7回目参加
15. 吉井 修（関西支部）	1961年3月4日	1・2・3・4・5・6・7回目参加

重廣恒夫ヒマラヤ登山歴

1973年秋	ネパール	エヴェレスト（8,848m）南西壁8,380mに到達	RCC II
1976年春	インド	ナンダ・デヴィ東峰（7,434m）第2登	日本山岳会
1977年夏	カラコルム	K2（8,611m）南東稜第2登	登攀リーダー 日本山岳協会
1979年夏	カラコルム	ラトック I 峰（7,145m）南壁初登頂	登攀隊長 京都カラコルムクラブ
1980年春	チベット	チョモランマ北壁初登攀	登攀リーダー 日本山岳会
1984年春	ネパール	カンチェンジュンガ南峰（8,491m）～	
		中央峰（8,478m）初縦走	登攀リーダー 日本山岳会
1985年夏	カラコルム	マッシャーブルム（7,821m）北稜～北西壁初登攀	
		ブロード・ピーク（8,047m）登頂	登攀隊長 関西登高会
1988年春	チベット	チョモランマ（8,848m）交差縦走	登攀隊長 日本山岳会
1990年秋	チベット	ナムチャバルワ（7,782m）偵察	隊長 日本山岳会
1991年秋	チベット	ナムチャバルワ（7,782m）ナイプン峰（7,043m）登頂	隊長 日本山岳会
1992年秋	チベット	ナムチャバルワ（7,782m）初登頂	隊長 日本山岳会
1995年春	チベット	マカルー（8,463m）東稜初登攀	隊長 日本山岳会
2016年秋	ネパール	ナンガマリ II 峰（6,209m）初登頂	隊長 日本山岳会関西支部